

運輸ヘルスケアナビ

バス・タクシーに拡大

健康起因事故防止に効果

これまでトラック事業 診断の事後措置の徹底を
者に特化し、健康起因事 支援する「運輸ヘルスケ
故防止に向けて定期健康 アナビシステム」の運用 (OCHIS、理事長)

武田裕大阪大学名誉教授は、同ナビシステム
の運用をバス・タクシー
事業者に拡大して健診の
フォローアップに取り組
んでいる。

同ナビシステムは全日
本トラック協会が主体と
なって構築。OCHIS
が運用の受託機関として
活用を促してきた。事業
診断受診は各事業者に義

務付けられており、その
受診率は高い。しかし受
診後に医療機関から有所
見者と判断された場合の
事後対応にはらつきがあ
る。

「死の4重奏」と言わ
れる上体肥満(特に内臓
脂肪型肥満)、高血圧、糖
尿病、高脂血症(高中性
脂肪血症)の4つの条件
がそろると、心筋梗塞な
どの心臓病で亡くなる危
険が明らかに高まる。健
診でこうした結果が出た
場合や疑いが濃厚な場
合、運転中の意識喪失を
招き、重大事故に発展す
る可能性が極めて高いと
いうことになる。

だが、健診結果は各事
業者が管理はするもの
の、有所見者に対する事
後フォローがなかなかで
きていないのが実情だ。
「健診機関によって基準
値がバラバラ」「紙ベー
スで手が付けられない」
「忙しすぎて手が回らな
い」「どう扱っていいか
わからない」という事業
者が少なくない。

まず、健診機関で異な
る基準値や書式の健診デ
ータを同ナビシステムの
電子データに一元化し、
「ハイリスク」「要医療・
要生活改善」「事故防止
項目」の3つの見える化
を図る。この中で「事故
防止項目」とは、認知
機能や時間外労働、事故
歴、適性監査、勤務形態
をドライバーごとに入力
することで、健康情報と
労務情報を合わせて見る
ことができ、個々に合わ
せた健康・労務への配慮
ができる。同ナビシステ
ムによる見える化で精密
検査などの受診を勧奨す
ることで、事故惹起(じ
ゃっき)の可能性を下げ
ていく取り組みとなる。

OCHISでは、同ナ
ビシステムに各事業者か
ら預託されたデータを入
力し、CDでデータを納
品に加えて運用、活用につ
いて手厚くサポート
し、助言、指導まで行
う。すでにトラック事業
者では多くが活用し、健
康経営を進めている。

費用は1人当たり22
00円(税込)。問い合わせ
は運輸ヘルスケアナ
ビシステム専用ダイヤル
となる。

06(6167)8171。